

～継2 グローバルな視点から地域社会を理解し活動できる人材を育成する事業～

2. 地球市民育成事業

(5) インターンシップ受入事業

インターン生を年間通して受け入れ、業務サポートを実践しながら、事業の仕組みを学び、グローバルな視野を持てる人材育成を行いました。

《受入人数》 5人／2大学

| 学校名 | 人数 | 受入期間 |
|----------------------|----|----------------------|
| 尚絅大学文化言語学部現代文化学科 | 1人 | 令和2年9月1日～4日 3日間 |
| 熊本県立大学英語英米文学科、総合管理学科 | 2人 | 令和2年9月1日～20日 10日間 |
| 熊本県立大学総合管理学科 | 2人 | 令和3年2月25日～3月12日 10日間 |

(6) 地球市民・人づくり推進事業

① 第15回国際ボランティアワークキャンプ（以下、「ボラキャン」と称します）

地球市民としての資質を磨き、豊かな社会性を養うため、高校生自らが考え、話し合い、将来の実践に結び付ける機会の提供を行いました。

今回は「TSUNAGU～つなぐ～」をテーマに掲げ、これまでの14年に亘る歴史を引継ぎ、途絶えさせることなく次の世代に繋いでいきたい、また、ボラキャンで得られるたくさんの気づきや発見、思い出、友との出会いを参加者に繋いでいきたいという想いを込め実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、恒例の宿泊型キャンプの内容を縮小し、1日のプログラムとしました。

日 程：令和2年12月19日（土）

場 所：当館6階ホール、会議室など

参加者数：105人

参加費：500円

主 催：国際ボランティアワークキャンプ実行委員会（事務局：事業団）

後 援：熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社

分科会テーマ：

第1分科会「食品ロス」

第2分科会「多文化共生」

第3分科会「予防医療」

第4分科会「差別と偏見」

《ボランティアワークキャンプ15周年記念オンラインフォーラム（Zoomウェビナー）》

同キャンプ15周年を記念し、これまでの参加者たちが「今、高校生に伝えたいこと」をテーマにトークを行い、現高校生へメッセージを伝えるフォーラムを開催しました。

日 時：令和2年12月19日（土）19:00～20:40

参加者数：48人

協 力 者：ボラキャンO.B・O.G

② スマイルステーション

2階スマイルステーションコーナーを活用し、情報発信を行いました。

「Ⅲ. 熊本市国際交流会館の施設紹介 2F 図面⑥参照（43ページ）」

● English Activity (E-ACT)

高校生、大学生が留学生と対面で開催していた英語でのコミュニケーション活動を、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインで開催しました。

期 間：令和2年6月から令和3年3月 2回/月 *9月は中止

回 数：18回

参加者数：延べ236人（15カ国より参加）

(7) 国際交流ボランティア/サポートセンターボランティア活動促進事業

国際化に対応した人材の育成や、豊かなまちづくりを推進することを目的に、市民力を活かした各種ボランティアの登録制度を設け、ボランティア活動を行いました。

本年度はすべてのボランティア活動が、新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受け大幅に減少しました。

① 語学ボランティア

英語、中国語、韓国語などの通訳や翻訳などのお手伝いするボランティアです。

《登録者数》 299人 《活動者数》 延べ15人

② 情報ボランティア

市政だよりの翻訳を補助するボランティアです。

《登録者数》 49人 《活動者数》 延べ84人

③ 市民グローバルサポーター

街中等で困っている外国人を見つけたらサポートを行うボランティアです。

《登録者数》 115人

④ 災害時外国人支援多言語サポーター

災害時に避難所等に避難した外国人の情報収集及び提供を行うサポーターです。

平時は、災害情報の通訳・翻訳活動を行います。

登録者を対象に、外国人市民と共に歩き危険箇所を確認する「防災街歩き」を10月に予定していましたが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。

《登録者数》 27人 《活動者数》 延べ15人

⑤ 地域国際化推進ボランティア

地域の学校やコミュニティセンターへ赴き、自国の料理や音楽、文化などを紹介する外国人住民ボランティアです。

《登録者数》 203人 《活動者数》 延べ6人

⑥ ホストファミリーボランティア

海外からの訪問者に対し、日本人家庭にホームステイ、またはホームビジットを通して、日本の生活を体験してもらうためのボランティアです。

《登録家庭》 300家庭 《活動家庭》 0家庭

⑦ 文化ボランティア

茶道や日本舞踊、着物着付け、生け花など日本文化を指導するボランティアです。

《登録者数》 33人 《活動者数》 延べ8人

⑧ 生活日本語支援ボランティア

くらしのほんごくらぶや、地域日本語教室にて日本語学習を支援するボランティアです。

《登録者数》 844人 《活動者数》 延べ1,259人

⑨ 学生ボランティア

高校生、大学生たちが、事業団主催事業のサポート等を行うボランティアです。

事業団の活動への理解促進と国際交流や国際協力、多文化共生等に関する理解促進の学びの場を提供しました。国際交流員や外国人市民との活動を通して、異文化理解や企画運営体験ができ、最終的には、韓国フェスティバルにて、学生たち自らが1つの国際交流イベントをやり遂げることができました。

《活動者数》 延べ90人 《活動件数》 39件

《活動内容》 ・フェアトレードマルシェの運営補助
・韓国フェスティバルの企画運営
・グローバルカレッジ事業の補助など



⑩ 国際交流サポートセンターボランティア

当館2階にて、主に交流ラウンジ利用者のサポートを行うボランティアです。

新型コロナウイルス感染症の影響により活動場所の閉鎖や時間短縮が続き、不規則な活動となりましたが、活動が可能な時には、利用者への検温、受付名簿への記入、利用後のテーブル等の消毒等協力いただきました。

《登録者数》 19人 《活動者数》 延べ438人

●活動説明会・意見交換会

交流ラウンジ運営再開時に活動説明会・意見交換会を開催しました。

日 時：令和2年6月27日（土）10:00～12:00

場 所：当館2階交流ラウンジ

参加者数：11人

(8) 世界をよく知るセミナー

令和2年10月、熊本市で開催される予定であった「アジア・太平洋水サミット」に関連したセミナーを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で同サミットが延期となったため、テーマを「新型コロナと国際協調・連帯、多文化共生」に変更し、オンライン及び国際交流会館でも視聴できるハイブリッド形式にて実施しました。

日 時：令和2年12月20日（日）14:00～16:00

内 容：「新型コロナと国際協調・連帯、多文化共生」

講 師：水巻 中正氏（国際医療福祉大学院 教授）

場 所：当館4階第1会議室、オンライン（Zoom）

参加費：無料

参加者数：22人（会場5人、オンライン17人）

(9) 地域国際化推進（出前）事業

外国人市民を講師として公民館や学校に派遣し国際交流と異文化理解の機会を提供しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、料理のプログラムを始め、ほとんどの依頼がキャンセルとなり、「ものづくり体験（円形木琴）」と「4か国による自国の紹介」の2件のみの実施となりました。自国の紹介は紹介国4か国のうち2か国の講師が現地（海外）からZoomにて参加しました。時差や季節（気候）の違いが感じられる内容となり好評でした。

派遣実績：2件 派遣者数 6人

派遣内容：① ものづくり体験

日 時：令和2年12月18日（金）14:00～16:00

派 遣 先：熊本市立吉松小学校（5・6年生）

講 師：ものづくり塾

参加者数：52人

② 4か国による自国紹介

日 時：令和3年2月19日（金）9:30～11:00

派 遣 先：帯山西小学校（3年生）※Zoomを使用

講 師：外国人市民（オーストラリア、カナダ、韓国、ブルガリア）

※オーストラリア、ブルガリアは海外から参加

参加者数：100人

(10) 館内体験プログラム（ウォーキングガイド）

当館内で活動する国際協力機構（JICA）や、九州地方環境パートナーシップオフィス（EPO九州）、link café（リンクカフェ）、また、事業団と協力関係にある熊本ものづくり塾と連携を図り、体験型のプログラムを提供しました。中学生、高校生や、特別支援学校の生徒たちに国際協力の活動状況や、海外の文化について紹介を行いました。

期 間：通年

内 容：

- ・多文化共生や海外の文化について（事業団）
- ・国際協力活動について（JICAデスク熊本）
- ・フェアトレード活動について（link café）
- ・環境問題について（EPO九州）
- ・ものづくり体験（熊本ものづくり塾）

受入件数：2件 《受入人数》 51人

《受入詳細》

①日 時：令和2年7月10日（金）13:30～15:30

利用団体：熊本市立必由館高校

参加者数：42人

内 容：国際協力活動について、多文化共生について

②日 時：令和3年1月14日（木）13:00～14:00

利用団体：教育相談室フレンドリー

参加者数：9人

内 容：ドイツ紹介

(11) ニュースレターくまもと

令和2年9月で開設1周年を迎えた「熊本市外国人総合相談プラザ」の活動をはじめ、「世界をよく知るセミナー」や「多文化共生レポート」などを記事掲載しました。その他、事業の報告をはじめ、草の根で活動する青年海外協力隊や大学生インターンが書いたブログ等を掲載し発行しました。

発行：年4回 4月(春号)、7月(夏号)、11月(秋号)、2月(冬号)

規格：A4版、8ページ

発行部数：2,000部

配布場所：約220箇所

配布先：

熊本市の公的施設（40カ所）、

小中学校、高校、大学など（170カ所）

県内主要機関、県外など（10カ所）

事業団登録ボランティア（100人）

